

被扶養者認定申請書

認定日	令和 年 月 日
不認定	
決裁日	
常務理事	

受付日

記入例

扶養する対象者(妻、16歳以上の子供など)の氏名。扶養する対象者が複数名いる場合には、1名につき1枚の申請書が必要

被保険者(本人)氏名

アコム印

健康保険証の記号	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	番号		被保険者氏名	健康 太郎	提出月日	令和 X X X X X X	年	X	月	X	日	X	印	健康
----------	---------------------	----	--	--------	-------	------	----------------	---	---	---	---	---	---	---	----

以下は申請する被扶養者について記入してください。																
被扶養者とする者の氏名	フリガナ	ケンコウ ハナコ	健康 華子	生年月日	X	X	0	7	0	7	昭和	年	月	日	続柄	妻

この届出をする前の状態。申請する扶養対象者(妻・子供など)の状態についてあてはまるものにチェック。

扶養の理由

＜この届をするまでの状態＞該当欄にレ印および記載をして下さい。

1. 自らが被保険者であった。

↓

退職年月日 R XX年 XX月 XX日付
退職時勤務先

*退職後現在まで下記健康保険および記載をして下さい。

任意継続
 被扶養者(誰の:)
 国民健康保険

2. 国民健康保険の被保険者である → 保険証のコピー添付

3. 家族の健康保険の被扶養者であった。

4. 母 □ その他 () → 資格喪失証明書添付

被保険者以外に扶養対象者を経済的に援助をしている者がいる場合。例)祖父母、兄弟など

この届出を提出した後(被保険者が当社へ入社後)の、扶養対象者の収入について記載する。

あなた以外に申請する被扶養者を経済的に援助している者がおりますか

1. いる 長男・父・母・夫・兄・その他 () 円/月額

②. いない

所得の有無

＜申請する被扶養者の異動届後の収入＞*証明書類は必ず添付して下さい。

無

有 収入の多少に関係なく内訳を記入して下さい。(公的年金・企業年金、雇用保険(失業手当)、その他給付金(出産手当金、傷病手当金等)を含む)

収入内訳	年収額
	円
	円
	円
	円
	円
合計	円

雇用保険受給について記入する。

雇用保険受給

有 → 受給しません → 離職票1と2共に受給しない証明「法第4条3項不該当」の印表示のある写し提出

受給する (注2) → 求職申込み後に、雇用保険受給資格者証の写し提出

受給期間を延長します → 雇用受給延長申請後に、受給延長受理証の写し提出

無

別居している者(親・子供など)を被扶養者として申請する場合に記入する。

別居について

＜別居先の世帯主＞

申請する被扶養者本人

その他(その者の氏名) _____ (被保険者との関係) _____

直近3ヶ月分の銀行振込等の控(コピー可)も必ず

被扶養者への仕送額 _____ 円/月額

*被扶養者となる者の年間収入より多いことが扶養の条件となります。

(注1) この届書により被扶養者としての認定を受けた後、事実と相違していることが判明した場合は、遡って資格を喪失しその間の保険給付費等については返還請求いたします。

(注2) 雇用保険を受給し、基本手当日額が3,612円以上(障害者または60歳以上の方は5,000円以上)の場合には給付制限期間中のみ被扶養者として認められます。